

## 平成 26 年度 新規採択時評価の実施状況

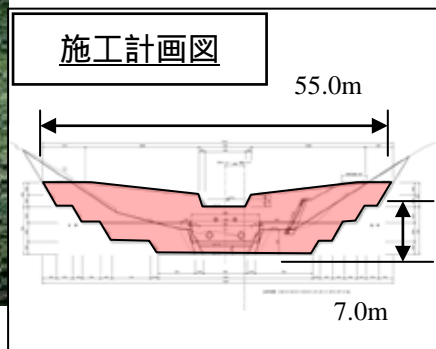
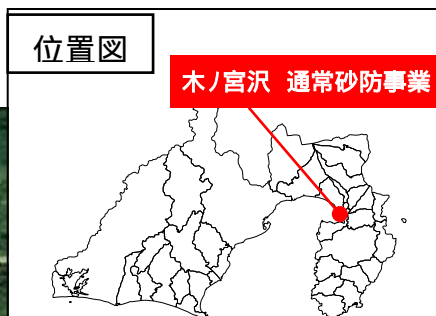
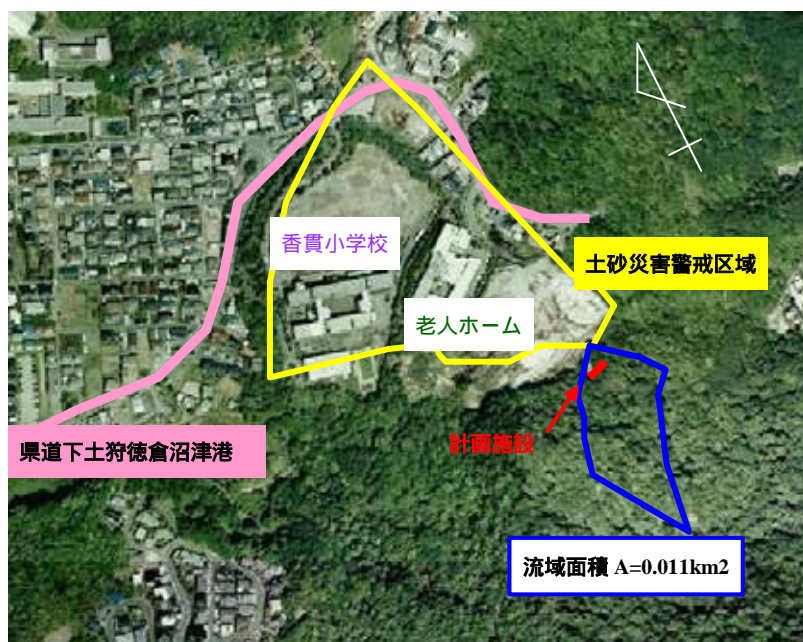
( 砂防 課 )

事業名	箇所・地区名等	所在市町	事業費 (百万円)	費用対効果	備考
通常砂防	北逆川下沢	静岡市駿河区	120	26.08	
通常砂防	中谷津西沢	静岡市清水区	227	18.99	
通常砂防	木ノ宮沢	沼津市	171	19.94	
通常砂防	男山沢	伊豆の国市	152	6.18	
通常砂防	大日川	賀茂郡南伊豆町	184	3.15	
通常砂防	中沢	牧之原市	116	9.17	
急傾斜地崩壊対策事業	水落	伊東市	200	3.2	
急傾斜地崩壊対策事業	小海 NO.2	沼津市	80	7.73	
急傾斜地崩壊対策事業	長岡左近山	伊豆の国市	280	17.05	
急傾斜地崩壊対策事業	竹原	伊豆市	385	4.03	
急傾斜地崩壊対策事業	下柚野瀬戸山	富士宮市	150	2.74	
急傾斜地崩壊対策事業	坂本	静岡市葵区	120	6.55	
急傾斜地崩壊対策事業	姥ヶ谷	島田市	85	8.44	
急傾斜地崩壊対策事業	家山塩本	島田市	20	3.34	
急傾斜地崩壊対策事業	高林花ノ木	浜松市中区	380	5.84	
地すべり対策事業	敷原	浜松市天竜区	250	12.49	

平成 26 年度 新規事業箇所調書

所管課 砂防課

事業名	通常砂防 事業						
河川・路線・施設名等	木ノ宮沢			所在市町	沼津市		
事業費	171 百万円			事業期間	H26 ~ H29		
<b>事業概要、目的</b> 当該箇所は、人家 9 戸および避難所である香貫小学校や災害時に迅速な行動を取ることが困難な災害時要援護者の施設、緊急輸送路である県道を保全する箇所である。木ノ宮沢の渓床には不安定土砂が厚く堆積し、土石流化した場合には甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。							
費用対効果(B/C)	19.94	総費用	177	総便益	3,530	基準年	H24
<b>費用対効果分析の手法</b> 「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(平成 24 年 3 月)による							
<b>評価指標、項目</b> < 災害発生時の影響 > 災害時要援護者施設及び人家 9 戸、緊急輸送路などに被害を及ぼす恐れがある。 < 過去の災害履歴 > < 災害発生の危険度 > 渓流状況や土質状況等の調査結果により、土砂災害警戒区域等の指定がなされていることから、災害発生の危険性は高い。							



## 平成 26 年度 新規事業箇所調書

所管課 砂防課

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
河川・路線・施設名等	高林花ノ木			所在市町	浜松市中区		
事業費	380 百万円			事業期間	H26～H30		
事業概要、目的							
当該箇所は災害時の避難場所を抱えていることから、より安全性を確保する必要がある。そのため、早急に崩壊防止対策を実施する。							
費用対効果(B/C)	5.84	総費用	337	総便益	1969	基準年	H25
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」(平成11年8月)による。							
評価指標、項目							
<p>災害発生時の影響 指定避難地である学校法人興誠学園浜松学院高等学校及び人家 12 戸などに被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>過去の災害実績 -</p> <p>災害発生の危険度 地形形状等などの調査結果により、土砂災害危険箇所となっていることから、災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							

平成 26 年度 新規事業箇所調書

所管課 砂防課

事業名	地すべり対策事業						
河川・路線・施設名等	敷原			所在市町	浜松市		
事業費	250 百万円			事業期間	H26 ~ H30		
<b>事業概要、目的</b> 本地区は、保全対象として人家 6 戸、県道春野下泉停車場線や一級河川熊切川等を含む地すべり防止区域である。平成 23 年 6 月頃から、-3,4 ブロックにおいて、樹木の傾動や斜面の滑落等により、ブロック下部の田んぼに土砂が流出するなど、地すべり活動の兆候が確認されており、早期に防止工事を実施し、地すべりによる被害の軽減を図る。							
費用対効果(B/C)	12.49	総費用	239	総便益	2,985	基準年	24
<b>費用対効果分析の手法</b> 「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」(平成 24 年 3 月)による							
<b>評価指標、項目</b> < 災害発生時の影響 > 人家 6 戸、県道、一級河川等に被害を及ぼす恐れがある。 < 過去の災害履歴 > 平成 23 年度に地すべり防止区域内において、斜面の滑落等が発生した。 < 災害発生の危険度 > 地すべり基本計画において、過去に地すべり兆候がみられるブロックとされていることから、災害発生の危険性は高い。							
<b>事業概要図</b>							